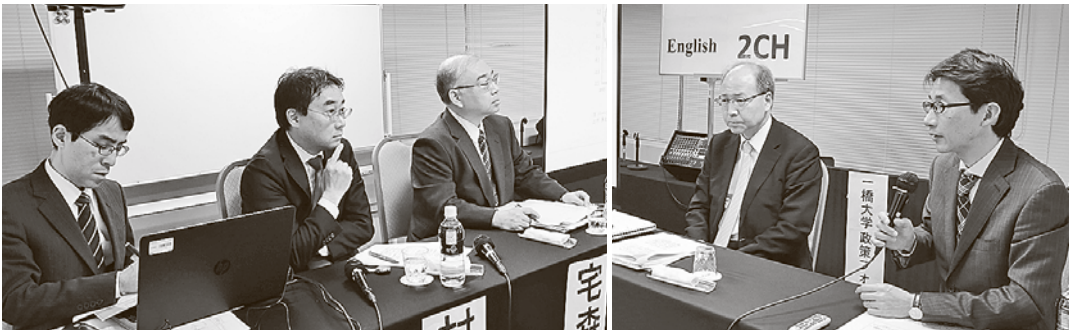




平成28年度第5回 一橋大学政策フォーラム インフレーション： 理論と現実

経済学における重要なトピックとなるインフレーション。日本銀行がインフレ目標を設定するなど我が国でもインフレへの関心は高い。一橋大学は2月中旬、インフレへの理解を深めるための政策フォーラムを開催。政策担当者や研究者が研究成果を発表し、議論を深めた。

パネルディスカッション



- （モデレーター）
一橋大学大学院
経済学研究科教授
塩路悦明氏
- 村嶋帰一氏
- 高田 創氏
- 宅森 昭吉氏
- 三井住友アセットマネジメント
理事チーフエコノミスト
関根 敏隆氏
- みずほ総合研究所
常務執行役員
チーフエコノミスト
高田 創氏
- シテイグループ証券
調査本部投資戦略部
経済・金利戦略グループ
チーフエコノミスト
村嶋帰一氏



関根氏

日本銀行の現状と見通し（インフレーションの動向を中心として）
（出席者）（写真右から）
（パネリスト）
日本銀行
調査統計局長
関根 敏隆氏
みずほ総合研究所
常務執行役員
チーフエコノミスト
高田 創氏
三井住友アセットマネジメント
理事チーフエコノミスト
宅森 昭吉氏



高田氏

情報によって期待形成を変更
一橋大学経済研究所教授
阿部 修人氏

期待形成や人口動態など多面的に考察

現実感ある 議論は面白い

一橋大学経済研究所長
北村行伸氏

1997年に発生したアジア通貨危機以降、日本銀行を中心に、金融危機への対応について様々な経験がある。組織の記憶もあるし、社会全体をみて、災害時や金融危機時の対応など知識がある程度は蓄積されている。

最適なイールドカーブ形成促す

日本銀行はデフレ脱却のため、2013年4月「量的・質的金融緩和」を導入した。その後4年間で企業収益は過去最高となり、ほぼ完全雇用が実現した。物価情勢は間違いなく好転している。一方で逆風もあって、2月の「物価安定の目標」は達成できていない。原油価格の大幅な下落などによって現実のインフレ率が下がり、これに反して、予想物価上昇率も弱含みに転じたためである。この間、世界的にも「低成長・低インフレ・低金利」が政策課題となり、特に昨年前半はそのボトムであった。

日本の家計のインフレ期待形成 経済実験による合理的期待形成仮説の検証

一橋大学経済研究所教授
阿部 修人氏

「インフレ期待」は財政・金融政策の影響を分析する際のマクロ経済学における最重要変数である。インフレ期待形成の経済理論には、適応的期待と合理的期待がある。合理的期待が過去のインフレ値のみから将来予測を行うのに対し、合理的期待は利用可能なすべての情報を用いて計算し、将来インフレの統計的期待値である。合理的期待の下では、人々の将来期待を変化させれば、失業率を高め、高インフレを容易に実現できる。実際、1980年代の中南米では高インフレに直接働きかけた政策が効力を発したと見られてきた。もっとも、人々が全体的な情報を用いるという仮定は非現実的であること、実証分析は困難であることなど、批判も多い。

人口動態とデフレ

早稲田大学
政治経済学術院教授
上田 晃三氏

人口動態とデフレの関係は政治経済学的観点から財政政策と物価の関係から理論的に探ることが試みられた。政府債務の累積にもかかわらず、インフレが顕在化しない理由を物価水準の財政理論に人口動態、もしくは政治経済学的観点から導入して考察することが問題意識になる。

高まる日本のインフレ予想

日本ではインフレ予想の形成がカナダと大きく違う。カナダは2012年の時点における変数を12ヶ月の時点における変数を用いて定量的分析したところ、年率0.6%の物価下落圧力を生むという結果となった。

高まる日本のインフレ予想

日本ではインフレ予想の形成がカナダと大きく違う。カナダは2012年の時点における変数を12ヶ月の時点における変数を用いて定量的分析したところ、年率0.6%の物価下落圧力を生むという結果となった。

高まる日本のインフレ予想

日本ではインフレ予想の形成がカナダと大きく違う。カナダは2012年の時点における変数を12ヶ月の時点における変数を用いて定量的分析したところ、年率0.6%の物価下落圧力を生むという結果となった。

高まる日本のインフレ予想

日本ではインフレ予想の形成がカナダと大きく違う。カナダは2012年の時点における変数を12ヶ月の時点における変数を用いて定量的分析したところ、年率0.6%の物価下落圧力を生むという結果となった。

高まる日本のインフレ予想

日本ではインフレ予想の形成がカナダと大きく違う。カナダは2012年の時点における変数を12ヶ月の時点における変数を用いて定量的分析したところ、年率0.6%の物価下落圧力を生むという結果となった。

高まる日本のインフレ予想

日本ではインフレ予想の形成がカナダと大きく違う。カナダは2012年の時点における変数を12ヶ月の時点における変数を用いて定量的分析したところ、年率0.6%の物価下落圧力を生むという結果となった。



塩路氏

塩路 悦明氏
一橋大学大学院
経済学研究科教授



高田氏

高田 創氏
みずほ総合研究所
常務執行役員
チーフエコノミスト



村嶋氏

村嶋 帰一氏
シテイグループ証券
調査本部投資戦略部
経済・金利戦略グループ
チーフエコノミスト



宅森氏

宅森 昭吉氏
シテイグループ証券
調査本部投資戦略部
経済・金利戦略グループ
チーフエコノミスト



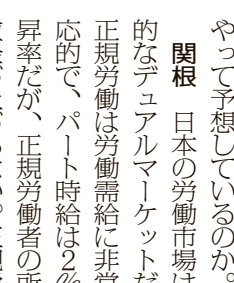
村嶋氏

村嶋 帰一氏
シテイグループ証券
調査本部投資戦略部
経済・金利戦略グループ
チーフエコノミスト



塩路氏

塩路 悦明氏
一橋大学大学院
経済学研究科教授



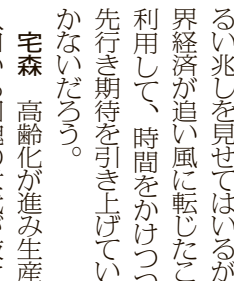
塩路氏

塩路 悦明氏
一橋大学大学院
経済学研究科教授



塩路氏

塩路 悦明氏
一橋大学大学院
経済学研究科教授



塩路氏

塩路 悦明氏
一橋大学大学院
経済学研究科教授

主催：一橋大学・一橋大学経済研究所 世代間問題研究機構 / 経済社会リスク研究機構
お問い合わせ先：一橋大学経済研究所 世代間問題研究機構 cis-admin@ier.hit-u.ac.jp